

「大幅な CO₂ 排出量削減を実現するための技術」

2019年度第2回研究会を下記の要領にて開催致します。皆様のご参加をお待ちしております。
＜全体概要＞

昨今、地球温暖化の深刻化と共に、大幅な CO₂ 排出量削減を行う技術の開発が喫緊の課題となってきました。実質的な CO₂ 排出量削減を行うためにはどうすれば良いのか、システム全体の考え方及び、産業部門、業務部門、運輸部門、民生部門における有効な技術を紹介します。

記

- ◆日時：2020年1月15日（水）14時00分～17時30分
- ◆場所：名古屋駅前イノベーションハブ 会議室
(名古屋市中村区名駅4-4-38 愛知県産業労働センター 15階)
- ◆定員：35名
- ◆参加：協会会員及び公的機関等に属する方（無料）
(※席に余裕がある場合は一般の方も受付いたします。)
下記申込用紙を FAX でお送りいただくか、電子メールにて出席される方の氏名、勤務先、所属を明記の上、下記事務局アドレスへ送信下さい。

■ プログラム

14:00～14:45

「CO₂ 大幅削減可能なエネルギーシステム像」

工藤 祐揮 (産総研 安全科学研究部門 社会と LCA 研究グループ長)

(概要)

技術開発が進められている省エネ・低炭素エネルギー技術の社会実装に伴う CO₂ 削減効果は、着目技術の既存技術に対するエネルギー・環境優位性だけでなく、コスト優位性、その他のエネルギー技術の動向や、社会・経済動向などによっても左右される。産総研安全科学研究部門では、最適化型エネルギーシステムモデルを用いて、各種エネルギー技術を社会実装していくための加速・阻害要因を分析する研究を行っている。本発表では、モデルを使った分析に基づき、CO₂ を大幅削減可能なエネルギーシステム像について紹介する。

14:45～15:30

「産業・業務部門における省エネの進め方と事例について」

谷口 裕一 (省エネルギーセンター 常務理事)

(概要)

CO₂ 削減には、①エネルギー消費量の削減 (いわゆる省エネ)、②エネルギーの低炭素化、③利用エネルギーの転換 の3つの視点からのアプローチが重要である。これらの実行にあたってのステップ、特に Holistic Design といわれる全体最適の考え方や最近の新しい技術など紹介する。

15:30～15:45 休憩

15:45～16:30

「運輸部門における CO₂ 排出量削減に向けた取組」

高橋 宙 (国土交通省 総合政策局 環境政策課

交通環境・エネルギー対策企画官)

(概要)

日本の CO₂ 排出量のうち、運輸部門は約 18% を占めており、2030 年までに 2013 年比 28% のエネルギー起源 CO₂ の削減という目標に挑んでいます。これに向けた各種の国の施策をご紹介します。

16:30～17:00

「民生部門におけるヒートポンプ・蓄熱システムを活用した CO₂ 排出量削減」

佐々木 俊文 (ヒートポンプ・蓄熱センター 業務部 課長)

(概要)

本セミナーでは、ヒートポンプの原理と省エネ性、再生可能エネルギーの活用について、また、蓄熱システムの、レジリエンスやダイヤモンドレスポンスの活用について、国のエネルギー政策や採

用事例などを紹介しながら説明します。

17:00～17:30 総合討論、名刺交換

【お問合せ】

産総研コンソーシアム名古屋工業技術協会 事務局（名古屋駅前イノベーションハブ内）

TEL:052-583-6454 E-mail: aist-chubu-kyokai-ml@aist.go.jp

【会場案内】

名古屋駅前イノベーションハブ

TEL:052-583-6454 FAX:052-583-6462

住所:〒450-0002

名古屋市中村区名駅4-4-38

愛知県産業労働センター 15階
(ウィンクあいち)

※「名古屋駅」より東へ徒歩約5分



産総研コンソーシアム名古屋工業技術協会 2019年度第2回研究会
「大幅なCO₂排出量削減を実現するための技術」
(2020年1月15日)

参加申込書

FAX: 052-583-6462

氏名 (代表者)		参加者数	名
勤務先			
部署名		役職	
住所 (連絡先)	〒	TEL: () -	E-mail:

※本申込書に記載される情報につきましては、個人情報保護法のもとに適切に管理し、本目的以外への転用は行いません。